

マリンスキー・オペラ

News



ワレリー・ゲルギエフ [芸術総監督・指揮] マリンスキー歌劇場管弦楽団・合唱団

vol. 1
2019年9月発行

ゲルギエフ、チャイコフスキー作品への熱い想いを語る

8月来日の
記者会見より

チャイコフスキー フェスティバルについて

今回は、チャイコフスキーのオペラの2作品、「スペードの女王」と「マゼッパ」、そして主要交響曲と協奏作品と、チャイコフスキーに光を当てました。これらの作品を皆様とともにじっくりと味わいたいと思います。

マリンスキー劇場は、1860年に創設されました。そして、チャイコフスキーの歌劇「スペードの女王」は、最新の技術を導入した限界の無い劇場として2014年に建てられたマリンスキーIIが完成した際に上演しました。マリンスキー劇場では、あらゆる世代の歌手たちが、このチャイコフスキーの偉大な「スペードの女王」に出演しています。

この作品は壮大で、力強く、とてもドラマティックなオペラで、皆さんに十分に楽しんでいただける作品です。じっくりと役作りをした素晴らしい歌手の歌声、演技とともに、深い、現代的意義に溢れたオペラとして、是非お楽しみいただきたいと思います。



©N.Hegami



マリンスキー劇場

1860年建設。帝政ロシアの威光を今に伝える優雅で歴史的な佇まいの外観と、現代の上演に耐える舞台機能を持つ劇場。



マリンスキーII

2014年建設。ゲルギエフ&マリンスキー・オペラがその威信をかけて21世紀に誕生させた、最新鋭の舞台機能を誇る劇場。

歌劇「マゼッパ」への思い

「マゼッパ」を日本の聴衆の皆様を紹介することは、とても意義のあることだと思っています。チャイコフスキーが「エフゲニー・オネーギン」の後に作曲した「マゼッパ」は、とても豊かでドラマティックで、そして、オーケストラが重要な役割を果たすオペラと言ったことが出来ます。

また、同時に歌の部分も重要で、重量感のある歌手がいなければ上演は不可能です。ドラマティックで、かなりの声量とスタミナが必要とされることから、これまで演奏される機会が少なかったのではありません。今回の「マゼッパ」日本公演の歌手陣は、今日のマリンスキー劇場を支える今の世代の強力なメンバーで臨みますのでご期待ください。

また、「マゼッパ」は「スペードの女王」と同様、ロシアの文豪プーシキンと偉大な作曲家チャイコフスキーという二人の天才による作品という事ができます。

「マゼッパ」はプーシキンの抒情詩「ボルタヴァ」を元にした、史実に基づく作品で、強いメッセージ性に溢れています。10人の声の時にオーケストラと対峙する場面もあります。マゼッパは70歳代、マリヤは18歳。マリヤに恋するアンドレイが主な登場人物で、「愛」がテーマとなっているオペラです。

マゼッパは実在した人物で、このオペラにはロシアの歴史上で最も重要な皇帝の1人、ピョートル大帝も登場

場しますし、マリヤの両親も実在しました。そしてこのオペラでは歌手陣によるアンサンブルは言うに及ばず、オーケストラ、合唱が雄弁に物語を導いていく重要な役割を担います。

私が24歳でモスクワ音楽院を卒業し、最初の数ヶ月間で初めて手がけた作品は、プロコフィエフの「戦争と平和」、そしてその次の作品が、このチャイコフスキーの「マゼッパ」でした。大抵の指揮者は「エフゲニー・オネーギン」や「スペードの女王」を初めに上演しますが、私は先に「マゼッパ」を手がけました。スコアも難しく、私には大きなリスクを伴い、当時の自身のキャリアのスタートにはよくないのではな

いかと心配になったこともありました。

しかし、今改めてこの「マゼッパ」の作品自身が持つスケール、深さを考えると、多くのマエストロに取り上げていただきた作品であることに誇りを感じています。デビュー当時の私が偶然取り上げることに運命だったのではないだろうか、と思っています。

今年6月の白夜祭で上演した「マゼッパ」は、歴史的な演出に基づいたプロダクションで、聴衆に絶賛されました。スリムスキーはヨーロッパで引張りだこのバリトン、マリヤ役のバヤンキナ、メゾソプラノのキクナーゼともに優れた歌手たちです。マリヤの父コチュベイ役のトロフィモフは私の大好きな歌手の一人、

この役にぴったりのバス歌手です。アンドレイ役には大ベテランのアーキーモフが出演します。

「マゼッパ」の舞台はミラノ・スカラ座でも、マリンス

キー劇場の歌手と共に出演しました。今秋、日本ではまずコンサート形式で上演しますが、いつか舞台での上演をお届けできる機会があると良いな、と思っています。

チャイコフスキー：歌劇『マゼッパ』 【公演前レクチャー実施のお知らせ】

11月より来日するマリンスキー・オペラ「マゼッパ」上演に先駆け、音楽評論家の東条碩夫氏が、作品の映像を交えながら、オペラの見どころ聴きどころを解りやすくお話しします。

◎日時：2019年10月18日(金)14:30~16:30
(受付開始14:00)

◎場所：美竹清花さろん
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目12-8 ILA渋谷美竹ビル

◎入場料：無料
◎予約申込：WEBフォームからお申込ください。
<http://bit.ly/MAZEPPALecture>

◎予約申込み締切り：2019年10月12日(土)
※定員になり次第締切りとなりますので、お早めにお申込ください。



↑こちらからお申し込みできます。

マリンスキー歌劇場 管弦楽団公演について

今回マリンスキー歌劇場管弦楽団の公演において、チャイコフスキーのピアノ協奏曲は、減多に演奏される機会のない第2番、第3番を演奏します。また、交響曲6作品の演奏を通じて、作曲家の約30年にわたる、初期から晩年までを俯瞰します。後期の第4番から第6番までのいわゆる「有名交響曲」だけを演奏するのでなく、知られざる交響曲をお届けすることに、皆様は新しい「チャイコフスキー像」を発見していただきたい、そう願っております。

これらチャイコフスキーの作品を演奏する事で、チャイコフスキーがいかに変化していったか——音楽的言語、音楽的表現、音楽的構成といった作曲家の音楽の創作の過程をたどることができると思います。私はカーネギーホールやベルリン、北京などでチャイコフスキーの全作品を上演する機会に恵まれてきました。そして上演した各国の聴衆にも深い感銘もって受け入れて頂きました。今回は初期と後期の交響曲を組み合わせたプログラムにしていますので、旋律、和性、オーケストレーション等を比較しながら楽しんで聴いて頂けると

マリンスキー劇場から世界へ～オペラ界の
現在を翔る、今最も“旬”歌手陣たち

スペードの女王



ミハイル・ヴェクア [ゲルマン役(11/30)]
2012年「ラインの黄金」ローゲ役でマリンスキー劇場にデビューし、今日最も目覚ましい活躍をするヘルデン・テノールとして注目を浴びている。物語への鋭い洞察力、卓越した演技力には定評があり、METにもゲスト出演している。今回は初来日。極真空手を習ったこともあり、日本独自の文化に深い興味を抱いている。



ウラディーミル・ガルージン [ゲルマン役(12/1)]
世界最高のドラマティック・テノールのひとり。ロシア人民芸術家。無比の音量と難役柄を表現する抜きん出た演技力で知られる。「スペードの女王」ゲルマン役の演技に対し、カスター・ディエヴァ・ロシア・オペラ賞が授与されている。



ロマン・ブルデンコ [エレットキー公爵役]
バイエルン国立歌劇場、チューリッヒ・オペラに次々とデビューし、世界中の歌劇場が注目する逸材。ベルカント作品、ヴェルディ、ワーグナーなど幅広いレパートリーを誇る。オペラの舞台上では共演者と個々の作品を探究することが何より楽しい、と話し最も期待される若手バリトンのひとり。



イリーナ・チュリロワ [リーザ役]
故郷ノヴォシビルスク国立歌劇場でクルレンティスのもと研鑽を積み、2013年にグノー（ファウスト）マルグリード役でマリンスキー歌劇場にデビュー。官能的なリリコ・スピントと人気を博し、〈ラ・ボエーム〉ミミ、〈タンホイザー〉エリーザベトなど、多くの作品で主要な役に抜擢される期待のソプラノ。



ユリア・マトーチュキナ [ポリーナ役(11/30)]
2015年、第15回チャイコフスキー国際コンクール声楽部門で優勝を果たし、ボロディナの再来を思わせる大型メゾ・ソプラノ。2016年のマリンスキー・オペラ来日公演では〈ドン・カルロ〉エポリ公女、〈エフゲニー・オネーギン〉オルガ役で出演し、聴衆と批評家から絶賛を博した。3度目の来日。



エカテリーナ・セルゲエワ [ポリーナ(12/1)]
マリンスキー劇場でオフペンバック（ホフマン物語）ニクラウス、ピゼー（カルメン）などメゾ・ソプラノの主演や重要な役を演じ、30以上のレパートリーを誇る。「マリンスキー劇場で鍛えられたから、怖いものはないわ」と話しセルゲエワは、エレガントな歌声と美しく魅惑的な容姿で高い人気を博し、今後ますますの期待が高まる。

マゼツパ



ウラディスラフ・スリムスキー [マゼツパ役]
ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場をはじめとする欧州の歌劇場、ザルツブルグ音楽祭など引く手あまたのオペラ歌手。正統派ヴェルディ・バリトンとしての地位を確立しつつも、チャイコフスキーの大作〈マゼツパ〉タイトルロールに相応しい堂々たる風格と歌唱は聴衆を惹きつけてやまない。今回、マゼツパを演唱するにあたり、「政治的リーダーでなく、愛に苦悩する一人の人間を描きたい」と語る。
※「スペードの女王」ではトムスキー伯爵役で出演



マリア・バヤンキナ [マリア役]
2013年、ゲルギエフ指揮「椿姫」ヴィオレッタ役でデビューした、若き大型リリック・ソプラノ。ウィグモアホール（英）、ジュネーブ歌劇場などの舞台に立つ。「マリンスキー劇場で成長し、ゲルギエフと共に高みを目指すことが出来るのはとても幸せなこと」と目を輝かせるバヤンキナは、長身で華やかな舞台姿、ふよふよと強さを兼ねた歌声で聴衆を魅了する。「〈マゼツパ〉はマリンスキー劇場で最も素晴らしい作品のひとつ。とてもドラマティックなオペラです。」と話す。



スタニスラフ・トロフィモフ [コチュベイ役]
ゲルギエフが今最も信頼を寄せる若手バス歌手。ムソルグスキー（ボリス・ゴドゥノフ）のピーマン役で瞬時に聴衆の心を掴んだ。今回は自身にとって待望の初来日。今後も〈ボリス・ゴドゥノフ〉ほか、〈ナブッコ〉、〈ドン・カルロ〉のフィッツ2世など、重要な役での出演が決まっている。子供の頃から自然にロシア文学に親しみ、演劇要素のある作品をこよなく愛す。

歌手たちが語るチャイコフスキー「スペードの女王」



ミハイル・ヴェクア
Mikhail Vekua
(テノール/ゲルマン役[11/30])

「『スペードの女王』のゲルマンはどのような役柄でしょうか？」
ゲルマンの人生に「愛」が、「愛」というよりは「熱情」が生まれたとき、彼に「一つの考えを巡る内面の苦悩が始まります。ゲルマンが恋するリーザは高貴な家柄で、彼のものになるわけにはいかない運命。ですが彼はその運命に抗いたいと思います。ここでゲルマンの内面に激情が生まれます。人は、何が正しい行いがわかっているながら、時には正しく行動できないことがあります。現実と己の希望や欲望との間に大きな乖離があり、そこに自身でも収めることのできない葛藤が生まれるためです。」
ラストシーンで、ゲルマンが「スペードのクイーン」のカードを引いたとき、彼の頭の中ではどんな感情が渦巻いているのかお聞かせください。



「スペードの女王」第3幕・第2場
ヴェクア演じるドラマティックなゲルマン(マリンスキー劇場の公演より)

「『スペードの女王』は、現代の卓越した指揮者、天才だと思っています。彼の解釈はいつも新鮮で、それは他と較べようがありません。音楽は毎回、新たな生彩を放ちます。そして、ゲルギエフの指揮で、歌手は本領を発揮できます。これは最も重要なことです。彼の天才的なところは、歌手に演じる上での自由を感じさせる点です。それでいて、あくまでクラシックの手法に、作曲家が書くようにしたものに依拠します。彼は歌手を助け、表現の翼を与えてくれるのです。」

「マエストロ・ゲルギエフは、あなたにとってどのようなインスピレーションを与える存在ですか？」
ゲルギエフは、現代の卓越した指揮者、天才だと思っています。彼の解釈はいつも新鮮で、それは他と較べようがありません。音楽は毎回、新たな生彩を放ちます。そして、ゲルギエフの指揮で、歌手は本領を発揮できます。これは最も重要なことです。彼の天才的なところは、歌手に演じる上での自由を感じさせる点です。それでいて、あくまでクラシックの手法に、作曲家が書くようにしたものに依拠します。彼は歌手を助け、表現の翼を与えてくれるのです。」



ロマン・ブルデンコ
Roman Burdenko
(バリトン/エレットキー公爵役)

「『スペードの女王』はどのような特徴を持つオペラでしょうか？」
オペラ「スペードの女王」は、帝政ロシア期のロシア人の心や文化、またこのペテルブルクという街を理解するきっかけになると思います。また物語の中には、多くのミステリアスな部分もありながら、生き生きとした歓喜の感情表現もあります。多彩で変化に富んだオペラと言えるでしょう。」

「バイエルン国立歌劇場やチュリッヒなどをはじめとした欧州の劇場でも活躍されていますね。」
私はヨーロッパでキャリアを始めるにあたって、自分がロシアの歌手だと思われたいという気をつけました。イタリアのベルカント唱法や外国の言葉で歌うことは、現代において非常に重要で、私にとって、重要なポイントです。他のヨーロッパの劇場では、時に原作者の誰か指示していない、物語と相反する感情を風変わりな演技や、視覚効果とともに表現するよう指示される事があります。その点マリンスキー

「世界の中でもマリンスキー劇場の魅力、ゲルギエフの魅力というのは、どういふところにあると思いますか？」
何よりも音楽が生み出された本来の姿が重視される点です。他のヨーロッパの劇場では、時に原作者の誰か指示していない、物語と相反する感情を風変わりな演技や、視覚効果とともに表現するよう指示される事があります。その点マリンスキー



「スペードの女王」第1幕・第1場 オペラでは華やかなペテルブルクの社交界が描き出される(マリンスキー劇場の公演より)

野村グループ presents
ワレリー・ゲルギエフ指揮
マリンスキー歌劇場管弦楽団
オール・チャイコフスキー・プログラム

マリンスキー歌劇場管弦楽団日本公演2019
【その他の公演スケジュール】

11/28(木)19:00開演
福岡シンフォニーホール・ヴァイオリン:五嶋龍
◎アクロス福岡チケットセンター 092-725-9112

11/29(金)19:00開演
レクサムホール(香川県県民ホール)大ホール
◎ピアノ:松田華音
◎県民ホールサービスセンター 087-823-5023

12/3(火)19:00開演
アクトシティ浜松 大ホール・ヴァイオリン:五嶋龍
◎公益財団法人浜松市文化振興財団 053-451-1114

12/8(日)14:00開演
フェニーチェ堺 大ホール(堺市民芸術文化ホール)
◎ヴァイオリン:五嶋龍
◎フェニーチェ堺 072-228-0440

12/5(木)19:00 サントリーホール
交響曲第1番「冬の日の幻想」
ロココの主題による変奏曲
◎アレクサンドル・プソフ(チェロ)
交響曲第6番 短調 作品74「悲愴」
S¥22,000 A¥18,000 B~D、ゲルギエフ・シート 売切

12/6(金)19:00 東京文化会館
交響曲第2番「小ロシア」
ヴァイオリン協奏曲・五嶋龍(ヴァイオリン)
交響曲第4番
S¥25,000 A~D、ゲルギエフ・シート 売切

12/7(土)13:00 東京文化会館
交響曲第3番「ポーランド」
ピアノ協奏曲第3番・セルゲイ・ババヤン(ピアノ)
ピアノ協奏曲第1番・辻井伸行(ピアノ)
S¥25,000 A¥20,000 B¥15,000
ゲルギエフ・シート¥5,000 C~D 売切

12/7(土)18:00 東京文化会館
ピアノ協奏曲第2番・セルゲイ・ババヤン(ピアノ)
交響曲第5番
S¥22,000 A¥18,000 B¥14,000
ゲルギエフ・シート¥5,000 C~D 売切

歌劇「スペードの女王」
チャイコフスキー作曲(全三幕)
ロシア語上演・字幕付
2019.11/30[土]・12/1[日]15:00
東京文化会館
S¥42,000 A¥36,000 B¥29,000
ゲルギエフ・シート¥5,000 C~E 売切

歌劇「マゼツパ」
チャイコフスキー作曲 [コンサート形式](全三幕)
ロシア語上演・字幕付
2019.12/2[月]18:00
サントリーホール
S¥30,000 A¥25,000 B¥19,000 最少
ゲルギエフ・シート¥5,000 C~D 売切

〈チケットのお申込み・お問い合わせ〉
ジャパン・アーツぴあコールセンター
0570-00-1212
www.japanarts.co.jp/tf2019

●東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650(東京文化会館公演のみ)
●サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017(サントリーホール公演のみ)
●チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 [Pコード:147-232]
●イープラス eplus.jp ●ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:32183]

〈割引チケット〉
●ゲルギエフ・シート:芸術総監督ワレリー・ゲルギエフの「人類の偉大な財産である芸術を次世代に受け継ぐ」という信念のもと、25歳以下の方を対象に各公演日限定枚数を販売いたします。※公演当日、入口にて年齢が確認できる身分証明書を拝見いたします。(確認できない場合はB席一般料金との差額を頂戴いたします。)※ジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方も同額です。
●シニア・チケット:65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。(ゲルギエフ・シート、シニア・チケットはWEBジャパン・アーツぴあ及びジャパン・アーツぴあコールセンターのみで取り扱い)
★車椅子スペースを車椅子でご利用の場合、割引がございません。(事前にジャパン・アーツぴあコールセンターまでお申込み下さい。)

【次のごことを承の上、チケットをお求めください】①やむを得ない事情で出演者等が変更になる場合がございます。最終的な出演者は当日発表とさせていただきます。②公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行はできません。紛失等に十分ご注意下さい。④開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただくこととなります。時間には余裕を持ってお越し下さい。⑤ご入場には一人1枚チケットが必要です。また、未就学児の入場はご遠慮ください。⑥本公演はすべて指定席です。お持ちのチケット以外の座席ではご鑑賞いただけません。⑦場内での写真撮影・録音・携帯電話の使用は固くお断りいたします。⑧オペラ公演の字幕は舞台の両脇に掲出されます。一部の席で見えづらい場合がございます。あらかじめご了承下さい。⑨ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑩お席によっては舞台が見切れる場合がございます。⑪他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

主催:朝日新聞社/ジャパン・アーツ 特別協賛:野村グループ 協賛:野村不動産グループ
後援:ロシア連邦大使館/ロシア連邦交流庁[Rosstrudnichestvo] 協力:ロシア文化フェスティバル組織委員会/マリンスキー・オペラ友の会